

認知症に関する活動計画(概要)

香川県作業療法士会では、香川県や各市町村から依頼を受け、認知症予防講座に県士会員の派遣を行っている。人材育成としては、香川県長寿対策課とともに、2016年から認知症人材育成研修補助事業を実施し、認知症初期集中支援に限らず広く地域実践につなげている。また、香川県からの委託により、3団体協力のもと、認知症予防キャラバン事業として、県民に対する普及と啓発、予防に取り組んでいる。さらに、認知症関係の事業依頼等に対応するため2025年5月より認知症委員会を新たに設立した。

認知症ケア人材育成研修補助事業

香川県から地域医療介護総合確保基金事業として補助を受けてハイブリッド研修会を実施している。作業療法士だけでなく、医療、介護従事者を対象として認知症研修会「認知症の早期からのIADL支援を考える」を行った。今年度は研修会を香川県の介護従事者の知識、技術向上や介護負担軽減を目的とし、外部研修会に参加が難しい方のために、作業療法士による無料出張研修会を下半期に5回実施予定。



認知症予防キャラバン事業

香川県からの委託事業として作業療法士会、理学療法士会、言語聴覚士会のリハ3団体で「認知症予防キャラバン事業」を実施している。地域の自治会や老人会等から61件の依頼があり、65名の講師を派遣、延べ875名の県民の皆さまに参加いただいた。講座は約1時間程度、座学と運動を実施している。参加者からは認知症予防には「運動」、「栄養」、「社会参加」の重要性を理解できたと大変好評である。



認知症委員会

認知症関係の事業依頼等に対応する為2025年5月より一般社団法人香川県作業療法士会に認知症委員会を新たに設立した。今後は、情報交換会や調査研究事業 報告会に参加し日本作業療法士協会や香川県作業療法士会と情報共有をしながら、無料出張研修会等を企画運営していく予定である。